

償還 運用報告書 (全体版)

<償還日 2019年 3月 27日>

TS・ハイブリッドカー・ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／国内／株式 | |
| 信託期間 | 2009年3月27日から2019年3月27日までです。 | |
| 運用方針 | 主としてTS・ハイブリッドカー・マザーファンドへの投資を通じて、わが国の株式へ投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 | |
| 主要運用対象 | 当ファンド | TS・ハイブリッドカー・マザーファンド受益証券。 |
| | TS・ハイブリッドカー・マザーファンド | わが国の取引所に上場(上場予定を含みます。)されている株式。 |
| 組入制限 | 当ファンドのTS・ハイブリッドカー・マザーファンド組入上限比率 | 制限を設けません。 |
| | TS・ハイブリッドカー・マザーファンドの株式組入上限比率 | 制限を設けません。 |
| 分配方針 | 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。 | |

愛称：トヨタH

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、ご投資いただいております、「TS・ハイブリッドカー・ファンド」は、去る2019年3月27日をもちまして満期償還となりましたので、ここに当期(第10期)の運用状況とともに設定以来の運用経過をお知らせいたします。

ご愛顧誠にありがとうございました。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで
 お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2
<http://www.am-one.co.jp/>

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 (分配落) | 基準価額 | | 東証株価指数 (TOPIX) | | 株式組入比率 | 株式先物比率 | 純資産額 |
|--------------------------|---------------------|----------|-----------|-------------------|-----------|-----------|--------|--------------|
| | | 税金 分配 | 積み 金騰落 | 騰落率 | 騰落率 | | | |
| 6期(2015年3月27日) | 円 銭 19,600 | 円 200 | % 31.6 | ポイント 1,552.78 | % 31.9 | % 95.2 | % - | 百万円 1,151 |
| 7期(2016年3月28日) | 15,528 | 200 | △19.8 | 1,381.85 | △11.0 | 97.2 | - | 910 |
| 8期(2017年3月27日) | 18,488 | 200 | 20.4 | 1,524.39 | 10.3 | 97.3 | - | 991 |
| 9期(2018年3月27日) | 20,903 | 200 | 14.1 | 1,717.13 | 12.6 | 96.2 | - | 1,098 |
| (償還時) 10期(2019年3月27日) | (償還価額) 17,707.60 | - | △15.3 | 1,609.49 | △6.3 | - | - | 850 |

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※株式組入比率および株式先物比率は、実質比率を記載しております。

※東証株価指数は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指標をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

※東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(㈱東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXの商標に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。

なお、本商品は、㈱東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | 基準価額 | | 東証株価指数 (TOPIX) | | 株式組入比率 | 株式先物比率 |
|---------------------|---------------------|--------|------------------|-------------------|-----------|--------|--------|
| | | 騰落率 | 騰落率 | 騰落率 | 騰落率 | | |
| (期首) 2018年3月27日 | 円 銭 20,903 | % - | ポイント 1,717.13 | % - | % 96.2 | % - | |
| 3月末 | 20,957 | 0.3 | 1,716.30 | △0.0 | 94.5 | - | |
| 4月末 | 21,523 | 3.0 | 1,777.23 | 3.5 | 97.0 | - | |
| 5月末 | 20,997 | 0.4 | 1,747.45 | 1.8 | 97.0 | - | |
| 6月末 | 20,632 | △1.3 | 1,730.89 | 0.8 | 97.1 | - | |
| 7月末 | 21,079 | 0.8 | 1,753.29 | 2.1 | 97.0 | - | |
| 8月末 | 20,839 | △0.3 | 1,735.35 | 1.1 | 98.2 | - | |
| 9月末 | 21,431 | 2.5 | 1,817.25 | 5.8 | 97.4 | - | |
| 10月末 | 18,895 | △9.6 | 1,646.12 | △4.1 | 96.3 | - | |
| 11月末 | 18,933 | △9.4 | 1,667.45 | △2.9 | 96.5 | - | |
| 12月末 | 16,939 | △19.0 | 1,494.09 | △13.0 | 84.2 | - | |
| 2019年1月末 | 17,975 | △14.0 | 1,567.49 | △8.7 | 86.1 | - | |
| 2月末 | 18,100 | △13.4 | 1,607.66 | △6.4 | 87.1 | - | |
| (償還時) 2019年3月27日 | (償還価額) 17,707.60 | △15.3 | 1,609.49 | △6.3 | - | - | |

※騰落率は期首比。

※株式組入比率および株式先物比率は、実質比率を記載しております。

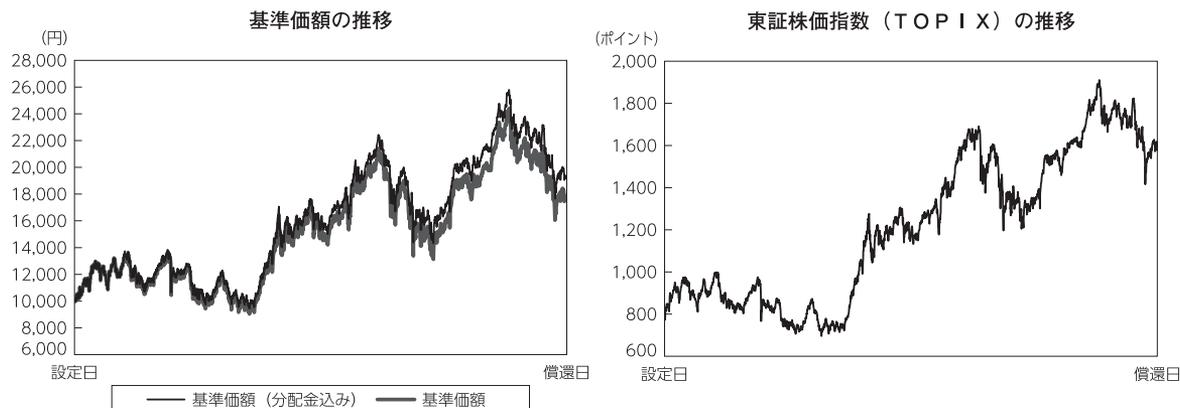
(2009年3月27日から2019年3月27日)

○設定以来の運用概況

1. 当ファンドの特色

主としてT S ・ハイブリッドカー・マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、わが国の株式に投資を行いました。わが国の取引所に上場（上場予定を含みます。）されている株式を主要投資対象とし、主にトヨタ・ハイブリッドカーに関連する企業の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

2. 設定時から前期（第1期～第9期）までの運用経過



※基準価額（分配金込み）は、設定来の分配金（累計）を単純に加算しています。

○基準価額の変動と市場動向

1. 第1期～第5期（2009年3月27日～2014年3月27日）

基準価額は、金融危機の最悪期は脱したとの見方から上昇して始まりました。その後2011年にかけては、世界経済の動向に対する警戒感と期待感が交錯する中、一進一退で推移していましたが、2011年3月11日に東日本大震災が発生すると急落し、欧州債務問題の深刻化などを背景に下値を切り下げました。その後は、第二次安倍政権への政策期待や、2013年3月に就任した黒田日本銀行総裁への追加緩和期待などから上昇基調となり、4月の金融政策決定会合で事前予想を上回る大規模な金融緩和が決定されると、急速に円安が進行し、基準価額の水準を切り上げました。

2. 第6期～第9期（2014年3月28日～2018年3月27日）

基準価額は、上昇基調が続いていましたが、2015年半ば以降は、ギリシャ財政危機や中国の人民元切り下げに伴う景気悪化懸念などにより、基準価額は急落しました。また2016年6月に、英国においてEU（欧州連合）からの離脱を問う国民投票で離脱派が多数を占める結果となったことを受けて一段の下落となりました。その後反転し、11月の米国大統領選挙でトランプ氏が勝利し政策が見直されたことや、また2017年5月にフランス大統領選挙でマクロン氏が極右候補を退けて勝利したこと、国内では10月の衆議院選挙を経て安倍政権に安定感が増したことなどから、基準価額の回復は鮮明となりました。

○ポートフォリオについて

<当ファンド>

マザーファンドを高位に組み入れた運用を行いました。

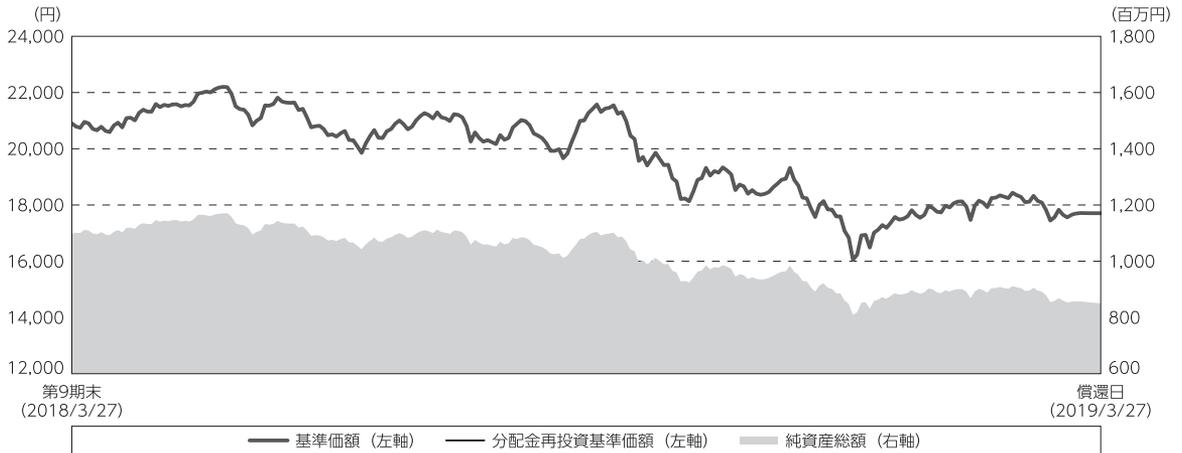
<TS・ハイブリッドカー・マザーファンド>

わが国の取引所に上場（上場予定を含みます）されている株式を主要投資対象とし、主にトヨタ・ハイブリッドカーに関連する企業の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。銘柄選定にあたっては、トヨタ・ハイブリッドカー関連ビジネスの恩恵を受ける企業に着目し、業績動向、時価総額、流動性、信用リスク等を総合的に勘案し、ポートフォリオを構築しました。株式の組入比率は、原則として高位とすることを基本としました。

3. 当期（第10期）の運用経過

運用経過の説明

基準価額等の推移（2018年3月28日～2019年3月27日）



期 首：20,903円

期末（償還日）：17,707円60銭（既払分配金：－円）

騰 落 率：△ 15.3% （分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

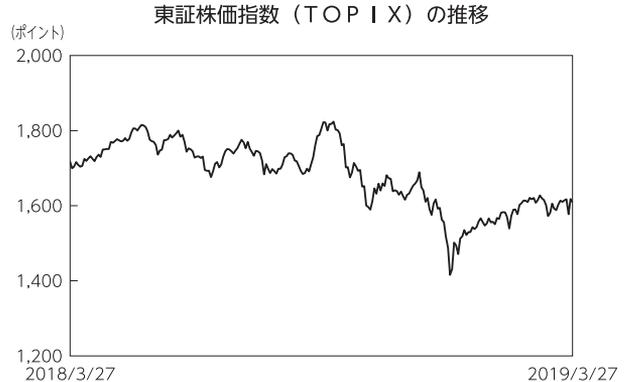
主としてT S ・ハイブリッドカー・マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、わが国の株式を高位に組み入れた運用を行いました。

個別銘柄では、三菱商事、村田製作所、ノリタケカンパニーリミテド、日置電機、京セラなどがプラスに寄与した一方、パナソニック、ルネサスエレクトロニクス、デンソー、日本電産、信越化学工業などがマイナスに寄与しました。業種では、卸売業がプラスに寄与した一方、電気機器、輸送用機器、化学などがマイナス要因となりました。

投資環境（2018年3月28日～2019年3月27日）

国内株式市況を東証株価指数（T O P I X）で見ると、期首に比べ6.3%の下落となりました。

国内株式市場は、売り越しが続いていた外国人が買い越しに転じてきたことなどから上昇して始まりました。2018年6月半ば以降は米国の中間選挙を意識したトランプ政権の動向などにより、乱高下する展開となりました。9月下旬にかけては為替が米ドル高/円安方向に動き始めたことや日米の政治に安定感が増したことから反発したものの、10月以降は、米中貿易摩擦が实体经济に与える影響への懸念や、F R B（米連邦準備制度理事会）のタカ派的な姿勢に対する失望などから、大きく下落する展開となりました。その後F R Bのパウエル議長が今後の金融政策に対しハト派的な姿勢を示したことや、米中貿易協議への過度な不安が後退したことなどから期末にかけて反発しました。



ポートフォリオについて（2018年3月28日～2019年3月27日）

●当ファンド

マザーファンドを高位に組み入れた運用を行いました。

●T S ・ ハイブリッドカー ・ マザーファンド

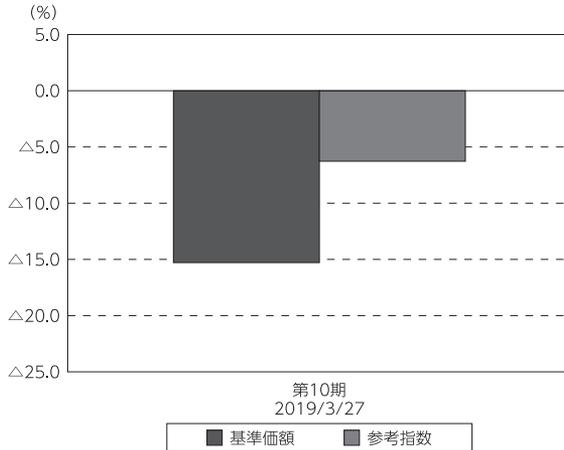
わが国の取引所に上場（上場予定を含みます）されている株式を主要投資対象とし、主にトヨタ・ハイブリッドカーに関連する企業の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。銘柄選定にあたっては、トヨタ・ハイブリッドカー関連ビジネスの恩恵を受ける企業に着目し、業績動向、時価総額、流動性、信用リスク等を総合的に勘案し、ポートフォリオを構築しました。株式の組入比率は、原則として高位とすることを基本としました。

売買については、償還に向けて、2019年3月19日に保有株式を全部売却しました。

ベンチマークとの差異について（2018年3月28日～2019年3月27日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
 グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

【基準価額と参考指数の対比（騰落率）】



償還にあたって

当ファンドは、2019年3月27日に満期償還させていただきました。長年に亘りご愛顧いただき誠にありがとうございました。

ファンドマネージャー 上松 賢治

(2018年3月28日～2019年3月27日)

○1万口当たりの費用明細

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|----------|------------|--------------------------------------------------|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 円 308 | % 1.550 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （ 投 信 会 社 ） | (150) | (0.756) | 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 |
| （ 販 売 会 社 ） | (150) | (0.756) | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| （ 受 託 会 社 ） | (8) | (0.038) | 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 2 | 0.009 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| （ 株 式 ） | (2) | (0.009) | 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 |
| (c) そ の 他 費 用 | 0 | 0.001 | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （ 監 査 費 用 ） | (0) | (0.001) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| 合 計 | 310 | 1.560 | |
| 期中の平均基準価額は、19,858円です。 | | | |

※期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

※比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年3月28日～2019年3月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 柄 | 設 定 | | 解 約 | |
|-----------------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| T S ・ハイブリッドカー・マザーファンド | 千口 13,471 | 千円 34,640 | 千口 426,225 | 千円 984,747 |

(2018年3月28日～2019年3月27日)

○株式売買比率

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 | |
|---------------------|-----------------------|--|
| | T S ・ハイブリッドカー・マザーファンド | |
| (a) 期中の株式売買金額 | 941,764千円 | |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 966,545千円 | |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.97 | |

※(b)は各月末の組入株式時価総額の平均で、月末に残高のない場合は、それぞれを除いて計算しております。

○利害関係人との取引状況等

(2018年3月28日～2019年3月27日)

利害関係人との取引状況

<T S ・ハイブリッドカー・ファンド>

該当事項はございません。

<T S ・ハイブリッドカー・マザーファンド>

| 区 分 | 買付額等 A | | | 売付額等 C | | |
|-----|--------------------|---------------|----------|--------------------|---------------|----------|
| | うち利害関係人 との取引状況B | $\frac{B}{A}$ | | うち利害関係人 との取引状況D | $\frac{D}{C}$ | |
| 株式 | 百万円 26 | 百万円 2 | % 7.7 | 百万円 914 | 百万円 13 | % 1.4 |

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|------|
| 売買委託手数料総額 (A) | 95千円 |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 8千円 |
| (B) / (A) | 8.9% |

※売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうちこのファンドに対応するものを含みます。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、みずほ証券です。

○組入資産の明細

(2019年3月27日現在)

2019年3月27日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

| 銘柄 | 柄 | 期首(前期末) | |
|--------------------------|---|---------|---------------|
| | | 口 | 数 |
| T S ・ ハイブリッドカー ・ マザーファンド | | | 千口 412,753 |

○投資信託財産の構成

(2019年3月27日現在)

| 項目 | 償還時 | |
|--------------|---------------|------------|
| | 評価額 | 比率 |
| コール・ローン等、その他 | 千円 861,222 | % 100.0 |
| 投資信託財産総額 | 861,222 | 100.0 |

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2019年3月27日現在)

| 項目 | 償還時 |
|-----------------|------------------|
| (A) 資産 | 円 861,222,839 |
| コール・ローン等 | 861,222,839 |
| (B) 負債 | 10,786,246 |
| 未払解約金 | 3,703,615 |
| 未払信託報酬 | 7,080,697 |
| 未払利息 | 1,934 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 850,436,593 |
| 元本 | 480,266,360 |
| 償還差益金 | 370,170,233 |
| (D) 受益権総口数 | 480,266,360口 |
| 1万口当たり償還価額(C/D) | 17,707円60銭 |

○損益の状況 (2018年3月28日～2019年3月27日)

| 項目 | 当期 |
|------------------|----------------|
| (A) 配当等収益 | 円 △ 10,338 |
| その他収益金 | 3,556 |
| 支払利息 | △ 13,894 |
| (B) 有価証券売買損益 | △136,873,097 |
| 売買益 | 9,889,630 |
| 売買損 | △146,762,727 |
| (C) 信託報酬等 | △ 15,689,231 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △152,572,666 |
| (E) 前期繰越損益金 | 248,733,181 |
| (F) 追加信託差損益金 | 274,009,718 |
| (配当等相当額) | (219,794,156) |
| (売買損益相当額) | (54,215,562) |
| 償還差益金(D+E+F) | 370,170,233 |

- ・信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。
- ・追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち元本を上下する額を処理する項目で配当等相当額と売買損益相当額にわかれます。

注記事項

- ・信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

| | |
|-----------|--------------|
| 期首元本額 | 525,649,257円 |
| 期中追加設定元本額 | 25,603,449円 |
| 期中一部解約元本額 | 70,986,346円 |
- ・分配金の計算過程
 当ファンドは、信託約款に基づき、当計算期間末をもって償還されるため、該当事項はありません。

○投資信託財産運用総括表

| 信託期間 | 投資信託契約締結日 | 2009年3月27日 | | 投資信託契約終了時の状況 | |
|----------|----------------|----------------|---------------|--------------|--------------|
| | 投資信託契約終了日 | 2019年3月27日 | | 資産総額 | 861,222,839円 |
| 区分 | 投資信託契約締結当初 | 投資信託契約終了時 | 差引増減または追加信託 | 負債総額 | 10,786,246円 |
| | | | | 純資産総額 | 850,436,593円 |
| 受益権口数 | 1,359,963,493口 | 480,266,360口 | △879,697,133口 | 受益権口数 | 480,266,360口 |
| 元本額 | 1,359,963,493円 | 480,266,360円 | △879,697,133円 | 1万円当たり償還金 | 17,707円60銭 |
| 毎計算期末の状況 | | | | | |
| 計算期 | 元本額 | 純資産総額 | 基準価額 | 1万円当たり分配金 | |
| | | | | 金額 | 分配率 |
| 第1期 | 1,149,744,658円 | 1,500,760,238円 | 13,053円 | 200円 | 2.0% |
| 第2期 | 1,153,174,090 | 1,350,453,050 | 11,711 | 100 | 1.0 |
| 第3期 | 1,214,001,044 | 1,432,320,012 | 11,798 | 100 | 1.0 |
| 第4期 | 1,100,860,531 | 1,428,745,210 | 12,978 | 200 | 2.0 |
| 第5期 | 710,486,955 | 1,069,107,118 | 15,048 | 200 | 2.0 |
| 第6期 | 587,401,300 | 1,151,281,463 | 19,600 | 200 | 2.0 |
| 第7期 | 586,450,263 | 910,663,311 | 15,528 | 200 | 2.0 |
| 第8期 | 536,531,590 | 991,950,063 | 18,488 | 200 | 2.0 |
| 第9期 | 525,649,257 | 1,098,775,858 | 20,903 | 200 | 2.0 |

○償還金のお知らせ

| | |
|----------------|------------|
| 1万円当たり償還金(税込み) | 17,707円60銭 |
|----------------|------------|

1. 償還金のお支払いは、償還日から起算して5営業日までに開始いたします。
2. 償還金が個別元本を上回る金額に対して、源泉税が徴収されます。

TS・ハイブリッドカー・マザーファンド

繰上償還 運用報告書

(償還日 2019年3月26日)

「TS・ハイブリッドカー・マザーファンド」は、去る2019年3月26日をもちまして繰上償還させていただきました。ここに当期（第10期）の運用状況とともに設定以来の運用経過をお知らせいたします。

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

| | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 形態 | 親投資信託 |
| 信託期間 | 2009年3月27日から2019年3月26日（当初、原則無期限）まで。 |
| 運用方針 | わが国の取引所に上場（上場予定を含みます。）されている株式を主要投資対象とし、主にトヨタ・ハイブリッドカーに関連する企業の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 |
| 主要運用対象 | わが国の取引所に上場（上場予定を含みます。）されている株式を主要投資対象とします。 |
| 株式組入制限 | 制限を設けません。 |
| 分配方針 | 運用による収益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。 |

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | 東証株価指数 (TOPIX) | | 株式 組入比率 | 株式 先物比率 | 純資 産額 |
|-----------------|-----------|---------|-------------------|---------|------------|------------|----------|
| | 期 騰 | 中 落率 | 期 騰 | 中 落率 | | | |
| | 円 銭 | % | ポイント | % | % | % | 百万円 |
| 6期(2015年3月27日) | 23,072 | 33.9 | 1,552.78 | 31.9 | 97.5 | — | 1,125 |
| 7期(2016年3月28日) | 18,766 | △18.7 | 1,381.85 | △11.0 | 97.9 | — | 903 |
| 8期(2017年3月27日) | 22,953 | 22.3 | 1,524.39 | 10.3 | 97.6 | — | 988 |
| 9期(2018年3月27日) | 26,573 | 15.8 | 1,717.13 | 12.6 | 96.4 | — | 1,096 |
| (償還時) | (償還価額) | | | | | | |
| 10期(2019年3月26日) | 22,824.14 | △14.1 | 1,617.94 | △5.8 | — | — | 113 |

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※東証株価指数は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指標をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

※東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(㈱東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXの商標に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。

なお、本商品は、㈱東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基準価額 | | 東証株価指数 (TOPIX) | | 株式 組入比率 | 株式 先物比率 |
|---------------------|-----------|-------|-------------------|-------|------------|------------|
| | 騰 | 落率 | 騰 | 落率 | | |
| (期首) 2018年3月27日 | 円 銭 | % | ポイント | % | % | % |
| | 26,573 | — | 1,717.13 | — | 96.4 | — |
| 3月末 | 26,644 | 0.3 | 1,716.30 | △0.0 | 94.8 | — |
| 4月末 | 27,397 | 3.1 | 1,777.23 | 3.5 | 97.3 | — |
| 5月末 | 26,765 | 0.7 | 1,747.45 | 1.8 | 97.4 | — |
| 6月末 | 26,329 | △0.9 | 1,730.89 | 0.8 | 97.5 | — |
| 7月末 | 26,936 | 1.4 | 1,753.29 | 2.1 | 97.3 | — |
| 8月末 | 26,660 | 0.3 | 1,735.35 | 1.1 | 98.5 | — |
| 9月末 | 27,452 | 3.3 | 1,817.25 | 5.8 | 97.7 | — |
| 10月末 | 24,226 | △8.8 | 1,646.12 | △4.1 | 96.6 | — |
| 11月末 | 24,305 | △8.5 | 1,667.45 | △2.9 | 96.8 | — |
| 12月末 | 21,763 | △18.1 | 1,494.09 | △13.0 | 84.5 | — |
| 2019年1月末 | 23,129 | △13.0 | 1,567.49 | △8.7 | 86.2 | — |
| 2月末 | 23,329 | △12.2 | 1,607.66 | △6.4 | 91.7 | — |
| (償還時) 2019年3月26日 | (償還価額) | | | | | |
| | 22,824.14 | △14.1 | 1,617.94 | △5.8 | — | — |

※騰落率は期首比。

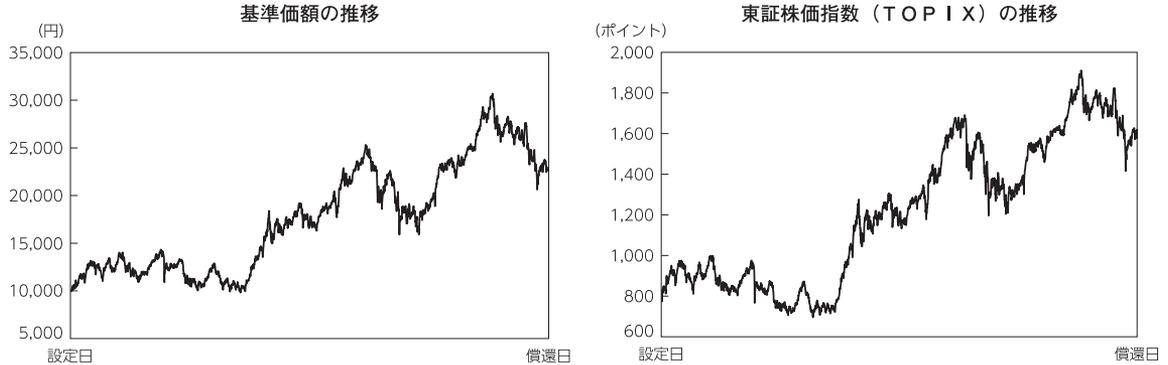
(2009年3月27日から2019年3月26日)

○設定以来の運用概況

1. 当ファンドの特色

わが国の取引所に上場（上場予定を含みます。）されている株式を主要投資対象とし、主にトヨタ・ハイブリッドカーに関連する企業の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

2. 設定時から前期（第1期～第9期）までの運用経過



○基準価額の変動と市場動向

1. 第1期～第5期（2009年3月27日～2014年3月27日）

基準価額は、金融危機の最悪期は脱したとの見方から上昇して始まりました。その後2011年にかけては、世界経済の動向に対する警戒感と期待感が交錯する中、一進一退で推移していましたが、2011年3月11日に東日本大震災が発生すると急落し、欧州債務問題の深刻化などを背景に下値を切り下げました。その後は、第二次安倍政権への政策期待や、2013年3月に就任した黒田日本銀行総裁への追加緩和期待などから上昇基調となり、4月の金融政策決定会合で事前予想を上回る大規模な金融緩和が決定されると、急速に円安が進行し、基準価額の水準を切り上げました。

2. 第6期～第9期（2014年3月28日～2018年3月27日）

基準価額は、上昇基調が続いていましたが、2015年半ば以降は、ギリシャ財政危機や中国の人民元切り下げに伴う景気悪化懸念などにより、基準価額は急落しました。また2016年6月に、英国においてEU（欧州連合）からの離脱を問う国民投票で離脱派が多数を占める結果となったことなどを受けて一段の下落となりました。その後反転し、11月の米国大統領選挙でトランプ氏が勝利し政策が見直されたことや、また2017年5月にフランス大統領選挙でマクロン氏が極右候補を退けて勝利したこと、国内では10月の衆議院選挙を経て安倍政権に安定感が増したことから、基準価額の回復は鮮明となりました。

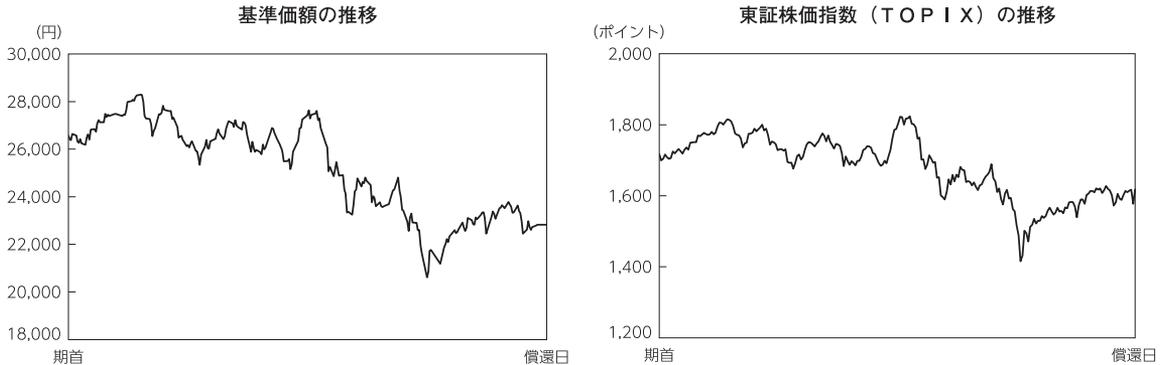
○ポートフォリオについて

銘柄選定にあたっては、トヨタ・ハイブリッドカー関連ビジネスの恩恵を受ける企業に着目し、業績動向、時価総額、流動性、信用リスク等を総合的に勘案し、ポートフォリオを構築しました。株式の組入比率は、原則として高位とすることを基本としました。

3. 当期（第10期）の運用経過

運用経過の説明

基準価額等の推移（2018年3月28日～2019年3月26日）



基準価額の変動要因

わが国の取引所に上場（上場予定を含みます。）されている株式を主要投資対象とし、主にトヨタ・ハイブリッドカーに関連する企業の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

個別銘柄では、三菱商事、村田製作所、ノリタケカンパニーリミテド、日置電機、京セラなどがプラスに寄与した一方、パナソニック、ルネサスエレクトロニクス、デンソー、日本電産、信越化学工業などがマイナスに寄与しました。業種では、卸売業がプラスに寄与した一方、電気機器、輸送用機器、化学などがマイナス要因となりました。

投資環境（2018年3月28日～2019年3月26日）

国内株式市況を東証株価指数（TOPIX）で見ると、期首に比べ5.8%の下落となりました。

国内株式市場は、売り越しが続いていた外国人が買い越しに転じてきたことなどから上昇して始まりました。2018年6月半ば以降は米国の中間選挙を意識したトランプ政権の動向などにより、乱高下する展開となりました。9月下旬にかけては為替が米ドル高/円安方向に動き始めたことや日米の政治に安定感が増したことなどから反発したものの、10月以降は、米中貿易摩擦が实体经济に与える影響への懸念や、FRB（米連邦準備制度理事会）のタカ派的な姿勢に対する失望などから、大きく下落する展開となりました。その後FRBのパウエル議長が今後の金融政策に対しハト派的な姿勢を示したことや、米中貿易協議への過度な不安が後退したことなどから期末にかけて反発しました。

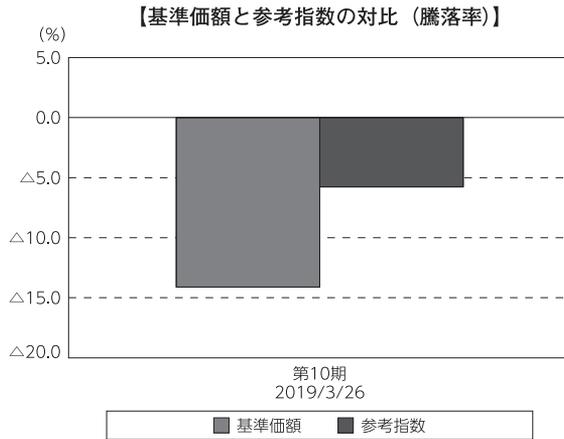
ポートフォリオについて（2018年3月28日～2019年3月26日）

銘柄選定にあたっては、トヨタ・ハイブリッドカー関連ビジネスの恩恵を受ける企業に着目し、業績動向、時価総額、流動性、信用リスク等を総合的に勘案し、ポートフォリオを構築しました。株式の組入比率は、原則として高位とすることを基本としました。

売買については、償還に向けて、2019年3月19日に保有株式を全部売却しました。

■ ベンチマークとの差異について（2018年3月28日～2019年3月26日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



償還にあたって

当ファンドは、TS・ハイブリッドカー・ファンドの満期償還に伴い、2019年3月26日に償還させていただきました。長年に亘りご愛顧いただき誠にありがとうございました。

ファンドマネージャー 上松 賢治

○1万口当たりの費用明細

(2018年3月28日～2019年3月26日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|------------------------------|---------------|-----------------------|--------------------------------------------------------------------|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) | 円 2 (2) | % 0.009 (0.009) | (a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 |
| 合 計 | 2 | 0.009 | |
| 期中の平均基準価額は、25,411円です。 | | | |

※期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

※金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

※比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年3月28日～2019年3月26日)

株式

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|---|----|------------|-----------------|-----|---------|
| | | 株 数 | 金 額 | 株 数 | 金 額 |
| 国 | 上場 | 千株 | 千円 | 千株 | 千円 |
| 内 | | 8 (△60) | 26,925 (-) | 404 | 914,838 |

※金額は受渡代金。

※（ ）内は、増資割当、予約権行使（株式転換）、合併、権利割当等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2018年3月28日～2019年3月26日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 |
|---------------------|-----------|
| (a) 期中の株式売買金額 | 941,764千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 966,545千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.97 |

※(b)は各月末の組入株式時価総額の平均で、月末に残高のない場合は、それぞれを除いて計算しております。

(2018年3月28日～2019年3月26日)

○利害関係人との取引状況等

利害関係人との取引状況

| 区 分 | 買付額等 A | | | 売付額等 C | | |
|-----|--------------------|---------------|-----|--------------------|---------------|-----|
| | うち利害関係人 との取引状況B | $\frac{B}{A}$ | % | うち利害関係人 との取引状況D | $\frac{D}{C}$ | % |
| 株式 | 百万円 26 | 百万円 2 | 7.7 | 百万円 914 | 百万円 13 | 1.4 |

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|------|
| 売買委託手数料総額 (A) | 95千円 |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 8千円 |
| (B) / (A) | 8.9% |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、みずほ証券です。

○組入資産の明細

(2019年3月26日現在)

2019年3月26日現在、有価証券等の組入れはございません。

国内株式

| 銘 柄 | 期首(前期末) | |
|----------------|---------|----|
| | 株 数 | 千株 |
| 繊維製品 | | |
| 東レ | 17 | |
| 化学 | | |
| 旭化成 | 16.5 | |
| 住友化学 | 20 | |
| 関東電化工業 | 8 | |
| 信越化学工業 | 4.2 | |
| ステラ ケミファ | 2.3 | |
| 三菱ケミカルホールディングス | 18.5 | |
| 住友パークライト | 11 | |
| 日立化成 | 3.8 | |
| 信越ポリマー | 8 | |
| ゴム製品 | | |
| 横浜ゴム | 3 | |
| ブリヂストン | 7.5 | |
| 住友ゴム工業 | 5.3 | |

| 銘 柄 | 期首(前期末) | |
|--------------------|---------|----|
| | 株 数 | 千株 |
| ガラス・土石製品 | | |
| AGC | 3 | |
| 東海カーボン | 5 | |
| ノリタケカンパニーリミテド | 2 | |
| MARUWA | 1 | |
| 鉄鋼 | | |
| 新日鐵住金 | 10 | |
| ジェイ エフ イー ホールディングス | 7 | |
| 大同特殊鋼 | 1.4 | |
| 日立金属 | 6 | |
| 非鉄金属 | | |
| 三菱マテリアル | 1.3 | |
| 住友金属鉱山 | 3.9 | |
| 古河電気工業 | 1.6 | |
| 住友電気工業 | 9 | |
| 機械 | | |
| 日本製鋼所 | 8 | |

| 銘柄 | 期首(前期末) | |
|-------------------|---------|----|
| | 株数 | |
| | | 千株 |
| 椿本チエイン | 9 | |
| T P R | 1 | |
| 日本精工 | 8.7 | |
| NTN | 8 | |
| 電気機器 | | |
| ミネベアミツミ | 6 | |
| 日立製作所 | 48 | |
| 三菱電機 | 21.5 | |
| 安川電機 | 4 | |
| 日本電産 | 3 | |
| ジーエス・ユアサ コーポレーション | 6 | |
| ルネサスエレクトロニクス | 19 | |
| パナソニック | 24.7 | |
| TDK | 1.9 | |
| 日本航空電子工業 | 5 | |
| 堀場製作所 | 1.4 | |
| 日置電機 | 3.5 | |
| スタンレー電気 | 3 | |
| 日本シイエムケイ | 8.5 | |
| ローム | 1.6 | |
| 京セラ | 3.3 | |

| 銘柄 | 期首(前期末) | |
|--------------|---------|-----|
| | 株数 | |
| | | 千株 |
| 村田製作所 | 2 | |
| 小糸製作所 | 1.5 | |
| 輸送用機器 | | |
| トヨタ紡織 | 2 | |
| 豊田自動織機 | 3.6 | |
| デンソー | 7.5 | |
| いすゞ自動車 | 9 | |
| トヨタ自動車 | 7 | |
| 日野自動車 | 6 | |
| 太平洋工業 | 6 | |
| アイシン精機 | 2.7 | |
| マツダ | 8 | |
| スズキ | 5.3 | |
| S U B A R U | 7 | |
| 豊田合成 | 1.5 | |
| 卸売業 | | |
| 三菱商事 | 16 | |
| 合 計 | 株数 | 456 |
| | 銘柄数 | 61 |

※単位未満は切り捨ててあります。

○投資信託財産の構成

(2019年3月26日現在)

| 項 目 | 償 還 時 | |
|--------------|---------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| コール・ローン等、その他 | 113,787 | 100.0 |
| 投資信託財産総額 | 113,787 | 100.0 |

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2019年3月26日現在)

| 項 目 | 償 還 時 |
|-----------------|-------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 113,787,863 |
| コール・ローン等 | 113,787,863 |
| (B) 負債 | 241 |
| 未払利息 | 241 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 113,787,622 |
| 元本 | 49,854,063 |
| 償還差益金 | 63,933,559 |
| (D) 受益権総口数 | 49,854,063口 |
| 1万口当たり償還価額(C/D) | 22,824円14銭 |

○損益の状況 (2018年3月28日～2019年3月26日)

| 項 目 | 当 期 |
|----------------|--------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 22,230,838 |
| 受取配当金 | 22,267,200 |
| その他収益金 | 3 |
| 支払利息 | △ 36,365 |
| (B) 有価証券売買損益 | △168,945,163 |
| 売買益 | 18,644,953 |
| 売買損 | △187,590,116 |
| (C) 当期損益金(A+B) | △146,714,325 |
| (D) 前期繰越損益金 | 684,068,549 |
| (E) 追加信託差損益金 | 21,168,274 |
| (F) 解約差損益金 | △494,588,939 |
| 償還差益金(C+D+E+F) | 63,933,559 |

- ・追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち元本を上下する額を処理する項目です。
- ・解約差損益金とは、解約元本額と解約代金との差額で解約元本額を上(下)回って支払うため損(益)金として処理することになっております。

注記事項

- ・投資信託の期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

| | |
|------------------|--------------|
| 期首元本額 | 412,753,398円 |
| 期中追加設定元本額 | 13,471,726円 |
| 期中一部解約元本額 | 376,371,061円 |
| 期末元本の内訳 | |
| TS・ハイブリッドカー・ファンド | 49,854,063円 |
| 合 計 | 49,854,063円 |